

# 保健分野における 探究的な学習 三次市立三和中学校

全児童生徒数	39名 (男子22名 女子17名)
全クラス数	4クラス(特別支援学級1クラス)
TEL	(0824) 52-3131

## 1 課題と目的

昨年度までは、最初に教科書の内容に関連する「問い作り」を行い、単元の終わりに、問いを一つ決めて、その答えを調べて1枚にまとめるという「ミニ探究」を行った。しかし、この学習では、教科書の内容を教えることに加えて、2、3時間必要となるため、授業時間数を圧迫していた。この課題を踏まえ、今年度の一学期は、教科書の内容に関連する問いの答えをGoogle スライドにまとめる作業を「自由進度学習」で行ったが、自己決定した問いではないため、想定した探究的な学習にはならなかった。以上のような課題に加え、学習指導要領の改訂に向けた論点整理でも、「深い学びの実装」というキーワードが発信されたこともあり、より一層、保健分野での探究的な学習を進めようと考えた。

## 2 主な取組の内容

以下のように単元を設定し、探究サイクルをまわした。

### (1) 学習内容の理解と、気付きの記録

- ①興味や驚きを感じたこと ②疑問に感じたこと

### (2) 問い作り (課題の設定)

- ①たくさんつくる ②問いを絞る
- ③絞った理由 を書く

### (3) 問いの追究 (情報の収集、整理・分析、まとめ)

各時間、①目標設定 ②作業 ③振り返りの順番で、A主張 B根拠 C意見(最後、結論)の作成に取り組む。

### (4) Canva シートへの入力 (表現)

入力項目は、①問い ②理由(研究動機) ③答え(A主張 B事実 C意見) ④過程(目標や振り返りなど) ⑤結論 ⑥引用元(参考文献)

## 3 取組で工夫したところ

全体を通じた工夫点として、それぞれの活動で「例示」や「ルーブリック」を用意した。

### (1) 学習内容の理解と、気付きの記録

まず、教科書の各ページをこれまでよりもコンパクトに扱い、内容ごとに、①興味や驚きを感じたこと ②疑問に感じたこと といった気付きをメモさせた。

### (2) 問い作り (課題の設定)

メモしたことを参考にして、①たくさんつくる ②問いを絞る ③絞った理由を書く という手順で、内容ごとに問いを創らせた。最終的には、1つの問いと研究動機を決めさせることとし、問いは、活動する中で変化させてもよいことにした。

### (3) 問いの追究 (情報の収集、整理・分析、まとめ)

①目標設定 ②作業 ③振り返り の流れで3時間を使い、情報収集、整理・分析、まとめの活動をさせた。情報収集したことを ①主張 ②事実(根拠) ③意見の項目でまとめさせ、最終的に、結論を作成させた。

### (4) Canva シートへの入力 (表現)

デザインを決めて、まとめた情報を1枚のシートに表現させた。シートには、①問い ②研究動機 ③答え(主張、事実、意見) ④過程 ⑤結論 ⑥引用元(参考文献)といった項目を入れるようにさせた。

## 4 成果と今後の課題

Google フォームで行ったアンケートでは、「難しかった」と感じている生徒が1/3ほどで、「何をしてもよいか分からない」、「どこに入力するか分かりづらい」などの意見があった。また、教師の支援については、「今くらいでよい」と感じている生徒が多く、「自分の力でやることも大切」、「自分でやる力がつくから」などの意見があった。

全ての生徒が取り組めるように、もっと例示や方法の選択肢を増やしていき、ルーブリックを改善したり、生徒の学習状況を適切に見取り、介入したりできるようにしていく。



問いを創る際は、内部情報を蓄積させてから行った。グループで出し合い、Canvaのホワイトボードシート上で分類させた。



情報収集に必要な問いに関連する参考文献を教師が用意した。今回は、書籍、論文データ等を中心に準備を行った。



スプレッドシート上に調べたことをまとめ、そのデータを参考に、最終的に、Canvaのデザイン1枚に表現させる活動を行った。